

# パワーポイントをもっとアクティブ、クリエイティブに活用しよう

## ー現場から ICT 活用をもちあげていくためにー

稲葉 通太 (大阪府立堺聴覚支援学校)

概要：教育現場で広く使われているパワーポイント。しかし、まだまだ提示的な使用形態が多く見受けられる。パワーポイントをもっとアクティブ・クリエイティブに活用して児童生徒も教師もわくわくする授業を創っていこう。

キーワード：ICT の活用、パワーポイント、マイクロソフト

### 1 はじめに

私は長年にわたり聴覚障害児童・生徒の教育に携わってきた。私自身、小学 2 年生の時に失聴した聴覚障害者である。

聴覚支援学校(ろう学校)においては、ビジュアルな視覚支援・イメージ支援が求められる。その方法として手話や動画などいろいろな方法が使われているが、私はパワーポイントの有用性に気づき、その活用のカタチを考え、それをさまざまな方法で発信してきた。

2013 年からはマイクロソフトの教育イノベーターに認定され、2016 年からはパワーポイントカテゴリでのマイクロソフト MVP として活動している。

ここでは、パワーポイントのアクティブ・クリエイティブな活用のカタチを提起したい。

### 2 パワーポイントは教育現場で真に活用されているか?

教育現場でのパワーポイントの利用は着実に広がってきているが、その多くは「提示」的な使い方が多いのではないだろうか。これも一つの使用スタイルではあると思うが、あまりにもこのスタイルが多いように思うのである。

私は聴覚支援学校において、次の点をもとにパワーポイントの活用を考えた。

①聴こえない子どもたちは手話だけですべてを

理解するのは難しい。新しい、違った方法での視覚支援が必要。

②教師による一方的な提示ではなく、児童生徒が主体的な学びができるようにしたい。

これが、今でも私のパワーポイント活用の基本スタイルになっている。パワーポイントに限ったことではないが、使用にあたっては自分の理念・思想をしっかりと持つべきであると考えている。

パワーポイントのすごいところは、専門的な IT 知識がなくてもかなりのレベルのオリジナルなデジタル教材が作れるということである。せっかくパワーポイントを使うなら、「提示」から「創造」へ、もう一步ステップを進めていきたい。

### 3 パワーポイントの活用を考える

では、具体的にパワーポイントの活用にどのような意義があり、どのように活用していけばいいのかを考えてみたい。

#### (1) パワーポイントを活用する意義

当たり前のことであるが、教師は教材をしっかりと作りこまなければならない。教材作りはまず指導の構想を練ることから始まる。この構想をもとに指導内容を考え、それをパワーポイントで作りあげていく。この過程で教師の教材作成力を高めていくことができる。

最近ではタブレットで既成のアプリを使うことも多いが、安易なアプリの使用は教師の教材作成力・作成の気持ちを落とすことにつながると考えている。一番問題に感じるのは、時としてアプリに児童を合わせてしまうことである。「こんなに定評のあるアプリを使っているのに、なぜこの子は理解できないのだろう…」という感覚を持ってしまうのが一番怖い。教師は自分の目の前にいる児童生徒の力をきちんと把握し、なんとか理解させたいという思いで教材を作りこんでいく必要があると考えるが、このためのツールは、ICT の分野で考えるとパワーポイントに勝るものはないであろう。

(2) パワーポイントをどのように活用するか  
パワーポイントの活用のカタチであるが、これは実際の作成例を見ていただきたいと思う。最後の参考文献のところで作成例へのアクセス方法を紹介させていただいた。ここでは大事なポイントを3点あげておきたい。

- ①単なるテキストや画像の提示では、パワーポイントならではのアニメーション効果を使ったとしても昔の OHP (オーバーヘッドプロジェクター) の使用と大差ない。伝えたい内容をビジュアルに可視化することを常に意識する。
- ②機械的な提示ではなく、児童生徒が思考し、提示者とのコミュニケーションもしっかりとれるものにする。
- ③指導者だけでなく、児童生徒が主体的に使えるものにする。学習ソフト的なものが作成できる。

#### 4 今後の課題

課題と考えていることであるが、パワーポイントのスキルやテクニックそのものの習得は容易である。大事なことは共有と発信であると考えている。

インターネット (SNS) によって、このように人と人がつながることができるようになった

現在、先生方の実践・取り組みを、学校という枠を超えて積極的に外部に広く発信していただきたいと思う。意見や評価を出しあうことにより、お互いを高めていくことができるだろう。

私自身、マイクロソフトの教育ネットワークに関わって、国内だけでなく海外の先生とも関わることができ、2014年にはスペインという遠い異国の地で実践報告するなど、人生最高の経験をすることができた。今ではブログや Facebook などいろいろな発信し、交流させていただいている。ぜひとも、共有と発信を意識していただきたい。

#### 5 最後に

昨今、教育現場では ICT の活用がさかんに言われているが、なんとなく上から一方的に降りてくる感じのようなものも多く、教育現場ではとまどいも多く見られる。いろいろな学校が活用についての発信をしているが、機器や設備を整備することそのものが ICT の活用と錯覚しているようなものも多く見受けられる。

ある教員は、ICT が「やらされ仕事」になっていると嘆いていたが、私はかねてよりそのような状況を変えていきたいと思っていた。ICT の活用は現場からつくりあげていくべきものと考えている。みんなが使っているパワーポイントはそのためには最適なツールである。今回の研究発表をきっかけに、多くの先生方とつながって共に考えていければ…と思っている。

#### 参考文献

- 「教師のためのパワポ活用術」  
～教材づくりもグループ学習も体験学習も～  
稲葉 通太 著 太郎次郎社エディタス  
ICT の教育活用を考えるブログ  
「つくる ICT」 <http://www.ictnavi.com/>  
※パワーポイント教材の作成例は、このブログから見ることができます。ダウンロードもできます。